

2009年度

科目名	ゼミナールⅠ			
担当教員	竹本 封由之進			
配当	教福3		コード	33560
開期	通年	講時	水曜日3限	単位数 4
授業テーマ	絵画制作を通し、自己表現力を高める			
目的と概要	絵画表現にある基本的な事柄について、実証的に研究を進める。主として絵画制作の実習を通し、自らの造形表現力を養います。 本講座では、上手・下手や芸術作品をつくる世界は求めません。自己表現・自己実現の具体的な形としての制作を目指します。絵画制作を通して、自らの人生観を確立し、生涯の友としてもらいたいと考えます。ゼミでの学習交流を通して学友との絆を強め、4回生の卒業研究へとつながる基礎づくりにしましょう。			
成績評価法	・出席状況・制作活動の様子・学習成果・自己評価などによって総合的に評価する。			
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。			
参考書	適宜紹介する。			
履修に当たっての注意・助言	*各自、油彩用具一式を購入すること。 *普段のゼミでは、教材研究などを中心に行うが、それとは別に日帰り写生会や写生合宿を行う。 *予定以外にも、上・下級生との交流活動、地域活動への参加等を入れる予定です。			
講義計画				
回	活動内容			
1回	学習計画の設計(研究課題、心得、実習関係事項等)			
2回	「鉛筆画」の描き方 鉛筆表現の基本と指導			
3回	「パス画」の描き方 パス表現の基本			
4回	「パス画」の描き方 パス表現の指導			
5回	「水彩画」の描き方 水彩表現の基本			
6回	「水彩画」の描き方 水彩表現の指導			
7回	造形表現・図画工作科の保育・授業の仕方			
8→11回	《教育実習》			
12回	《教育実習》反省会			
13回	「レポート」の書き方 論文の基本			
14回	「デッサン」の描き方 形取り			
15回	「デッサン」の描き方 陰影の付け方			
16回	「パス画」の描き方 パス指導の実際①			
17回	「パス画」の描き方 パス指導の実際②			
18回	「水彩画」の描き方 水彩指導の実際①			
19回	「水彩画」の描き方 水彩指導の実際②			
20回	「鑑賞」の仕方 鑑賞活動の指導			

- 21回 「版画」の表現方法 版表現の指導
- 22回 「版画」の表現方法 版表現指導の実際
- 23回 「貼り絵」の表現方法 貼り絵表現の指導
- 24回 「貼り絵」の表現方法 貼り絵表現指導の実際
- 25回 「彫塑」の表現方法 粘土表現の指導
- 26回 「彫塑」の表現方法 粘土表現指導の実際
- 27回 「造形遊び」の仕方 造形遊びの指導
- 28回 「造形遊び」の仕方 造形遊び指導の実際
- 29回 「鑑賞」の仕方 鑑賞指導の実際
- 30回 ゼミ年間評価会（作品提出・鑑賞）